

政策評価調書(30年度実績)

政策名	変化に対応し挑戦と努力が報われる農林水産業の実現	政策コード	Ⅱ-1	関係部局名	農林水産部
-----	--------------------------	-------	-----	-------	-------

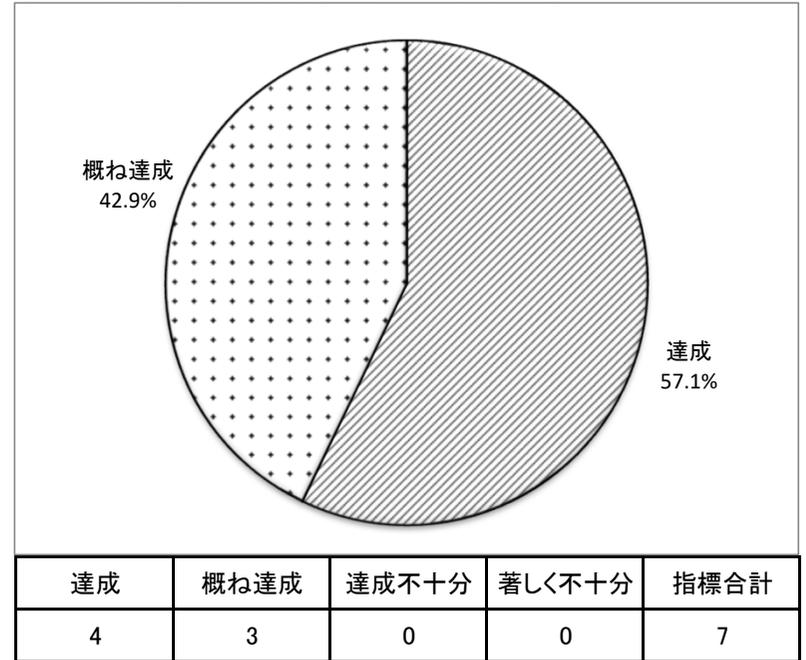
【Ⅰ. 政策の概要】

農林水産業の成長産業化に向け、規模拡大や協業化による先駆的な経営体の育成、就農学校の整備などによる新たな担い手の確保・育成、戦略的な輸出の拡大、食品産業と連携した加工・業務用向けの産地づくりなどにより構造改革をさらに進め、生産者の挑戦と努力が報われる農林水産業を実現する。

【Ⅲ. 政策を構成する施策の評価結果】

	施策名	指標評価	総合評価
1	構造改革の更なる加速	達成	A
2	マーケットインの商品(もの)づくりの加速	概ね達成	A
3	経営マインドを持った力強い担い手の確保・育成	達成	A
4	元気で豊かな農山漁村の継承	達成	A

【Ⅱ. 構成施策の目標指標の達成状況】



【Ⅴ. 政策を取り巻く社会経済情勢・今後の動向】

人口減少や高齢化社会が本格化する中、県内各地で展開される農林水産業を産業として成長させ、魅力ある「仕事」づくりを進めていくには、マーケット起点の商品づくりを基本に構造改革を加速し、意欲ある担い手のもと、生産性や品質の向上を図るとともに、海外をはじめ新たな市場に果敢に挑戦するなど、販売面での体制を強化する必要がある。

もうかる農林水産業の実現に向けて、米から高収益な園芸品目等への転換、「おおいた和牛」のブランド力強化と生産拡大、豊富な森林資源の循環利用による次世代の新たな森林づくり、水産資源管理の高度化と海面の有効活用、有利販売につながる多様な流通形態への対応など、生産・流通の両面から構造改革を進める。

こうした取組を支える意欲ある担い手の確保・育成に向けては、研修制度の充実や就業環境の改善をはじめ、高齢者や女性、障がい者、外国人など誰もが働きやすい環境整備が必要である。加えて、作業の省力化や規模拡大等に向けICTなどスマート技術の積極的な導入も必要である。

また、農林水産業は農山漁村の有する多面的機能の維持・保全の観点からも重要であることから、中山間地域での生産活動の活性化や鳥獣害対策などに引き続き取り組む。

【Ⅳ. 評価が著しく不十分となった指標】

指標名	達成率
該当なし	—